



## 交通安全の徹底を呼びかける —夏の交通事故防止府民運動—



▲交通安全を呼びかけるチラシを配布しました

七月二十日、JR園部駅西口の周辺で、夏の交通事故防止府民運動の街頭啓発を行いました。

今回の啓発活動では、子どもと高齢者の交通事故防止、自転車乗車中の交通事故防止、暴走行為など悪質・危険な運転の追放を目的に、南丹船井交通安全協会南丹支部の会員、南丹警察署員らおよそ二十人が、通勤・通学する市民に交通安全を呼びかけました。

また市内各地で、交通安全パレードを行い、広報車を利用して市民に交通安全の徹底を啓発しました。

七月二十日、JR園部駅西口の周辺で、夏の交通事故防止府民運動の街頭啓発を行いました。

今回の啓発活動では、子どもと高齢者の交通事故防止、自転車乗車中の交通事故防止、暴走行為など悪質・危険な運転の追放を目的に、南丹船井交通安全協会南丹支部の会員、南丹警察署員らおよそ二十人が、通勤・通学する市民に交通安全を呼びかけました。

また市内各地で、交通安全パレードを行い、広報車を利用して市民に交通安全の徹底を啓発しました。



▲園部町で行われた「社会を明るくする運動」街頭啓発活動

### 非行や犯罪のない 明るい社会を築く —社会を明るくする運動—

毎年七月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。これは、全ての国民が力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。

七月四日、市内各地で保護司会や民生児童委員協議会などからおおよそ百十人が参加し「社会を明るくする運動」の街頭啓発活動を行いました。このうち、JR園部駅周辺で行われた街頭啓発では、通勤・通学する市民にパンフレットと花の種を配り、犯罪や非行のない「明るい社会」づくりを呼びかけました。



▲今年度の事業計画が審議された総会

この協議会は市民に関心の高い健康づくり対策を積極的に推進し、市民の健康と福祉の増進に寄与するための活動を行う協議会です。

会議では、南丹市の医療・健康づくりに関する現状が報告されました。また、今後の活動として生活習慣病の予防に関する活動や、高齢化社会に向けた介護予防教室を行うことが決められました。

七月十三日、南丹市人権教育・啓発推進協議会の総会が市役所で開催され、六十二人の委員が出席しました。

総会では最初に勝田正巳会長が「組織体制の強化を進め、より多くの市民の皆さんに人権に関心を持ってもらえるようにしたい」とあいさつ。その後、平成十八年度の事業報告と、平成十九年度の事業計画が審議され、機関紙「ひびき」の発行などを通じた広報活動や、講演会活動を積極的に行うことが決められました。

### 健康づくり対策を 積極的に進める —南丹市健康づくり 推進協議会—



▲南丹市の健康づくり対策の現状が報告されました